考え改め、迷子猫に力を注ぐ。

今回のマガジンは、「ねこから目線。」の仕事について書いていきたいと思います。ねこから目線。は、ノラ猫と保護猫専門のお手伝い屋さんです。その為、「旅行に行く間に、自宅の飼い猫のお世話をしてほしい。」という飼い猫のペットシッター業務など既存の業者がいるような依頼は、相当な事情が無い限りお断りしていました。“迷子猫の捜索依頼”もよく入る相談ではあったのですが、同じ理由で積極的には引き受けていませんでした。なぜなら迷子猫は飼い猫さんのことですし、既存の業者さんも居ますし、１日８時間３日間連続といった一般的なサービス内容では、ねこから目線。の人員ではとても対応しきれないと思っていたからです。なにより、需要が多かったとしても、猫の殺処分ゼロを目指すための事業とは関係が薄いのではないか・・・。そう考えていたので、迷子猫の相談には、あくまでサポート程度のお手伝いをする程度で全く積極的ではありませんでした。そんな私ですが、2022 年 1 月より、迷子猫の捜索捕獲に全力を注ぐようになりました。今回のマガジンではなぜ考えがガラッと変わったのか、どんな風にサービス内容を組み立てることで、今のねこから目線。の人員でも対応できるように工夫したのかを書いてみたいと思います！

知って驚愕。迷子猫の件数・・

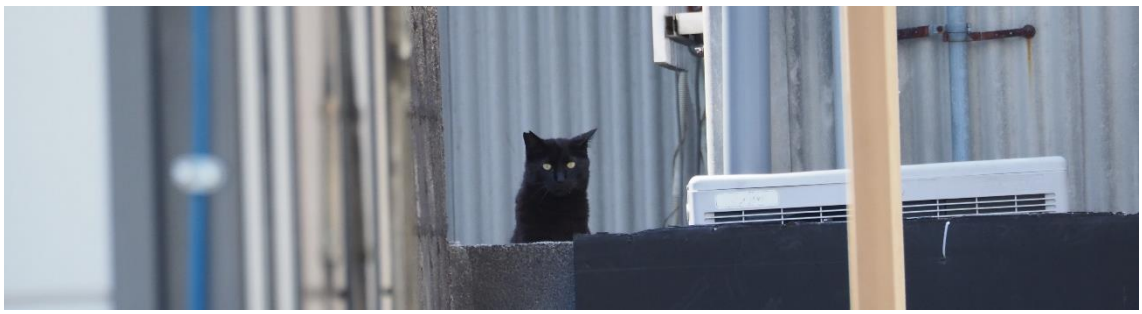
ある日、TNR（ノラ猫を捕獲して不妊手術をしたうえで元の場所に戻すこと）の依頼を受けて現場に行くとターゲットのノラ猫さんは緑色の首輪をしていました。「首輪をしてますけどノラ猫なんですか？」と聞くと「もう半年くらいノラ猫に混じってご飯を食べに通ってきてるのよ。」と依頼主さん。なるほど、半年も毎朝毎晩ご飯を食べに通っているとなると、今現在帰る家がある猫さんではなさそうです。ひとまず捕獲をして、動物病院へ不妊手術の為に搬入します。もしかすると迷子猫さんで今も飼い主さんが探しているか

もしれないので、動物病院にはマイクロチップの確認をお願いし、警察と愛護センターに迷子の遺失物届けが出ていないか電話をして確認しました。
私「迷子猫さんを一時的に保護しているんですが、届け出がないか確認してもらえますか？」
警察の人「はい。迷子の猫ですね。どの辺りにいましたか？」
私「〇〇市△町です」
警察の人「特徴を教えてください。」
私「未去勢のオス猫で、茶トラ模様に緑色の首輪をしています。尻尾は長いです。」
警察の人「いつ頃保護されましたか？」
私「保護したのは今日なのですが、半年前からノラ猫に混じって餌やりボランティアさんのお家にご飯を食べに来るようになったそうです。」
警察の人「え！半年前？？300 件くらい確認しないといけないよ（すごく嫌そう）。一度電話切らせていただいて、また確認が終わったら連絡しますね。」
とすごく迷惑そうにしながらもきちんと対応してくれました。結果、遺失物届けは出されていませんでした。ネット上の迷子猫の掲示板やＳＮＳも一通り探しましたが、それらしい猫さんを探している人はいませんでした。目の前にいる首輪のついた猫さんの飼い主を見つけてあげることができず、残念で寂しい気持ちでいっぱいでした。首輪猫さんのＴＮＲが終わり、しばらく経つと、じわじわと「え！半年前？？300 件くらい確認しないといけないよ」というあのセリフが何度も何度も頭の中で再生されるようになってきました。え。たった一つの市で警察に遺失物届けを出す案件だけでも半年で 300 匹も飼い猫が迷子になってるの？！

気になりすぎて、警察本部に連絡をしてみました。いったい 1 つの県で年間何匹の遺失物届けが出されているのか。電話で問い合わせをすると「なぜそんな事が知りたいのですか？」とだいぶ怪しまれましたが、「自分は猫の殺処分をゼロにするための事業のみを展開する会社を経営しており、これまで迷子猫はノラ猫問題とはあまり関係が無いと思って対応していませんでした。ですが、ある市の警察の方から半年で 300 匹を超える迷子猫の遺失物届けが出されていると聞ききました。もし、これが事実であるならば、迷子猫はノラ猫の発生源の大きな 1 要因であると考えることができ、弊社で真摯に取り組むべき問題であるといえるからです。そこの部分が、電話口の警察の方がちょっと盛ったのか、私の聞き間違いなのか、はっきりさせたいのです。」と丁寧に説明すると、２人ほど上の人まで確認作業がなられたうえで、「一般に公開している数字ではないので、どこの県から聞いた情報なのかはぼかしてくださいね。」という前置き付きで、「この県内ではおよそ年間 1,000 匹の猫の遺失物届けが出されています。」と教えてくれました。

年間 1,000 匹――。最初の窓口対応をしてくださった市警察の方はちょっと盛っていましたが（あるいは私の聞き間違いか）、それでも年間 1,000 匹の遺失物届けが提出さてる現状には衝撃を受けました。飼い猫が迷子になって、警察に遺失物届けを提出するくらい意

識の高い飼い主さんの飼い猫が年間 1,000 匹というわけですから、意識の低い飼い主さんの迷子猫も合わせたら、たった一つの県で年間 2,000～3,000 匹くらいは飼い猫が迷子になり、ノラ猫化してしまっているのではないでしょうか。その中には今回の首輪の子のように不妊手術がされていない子も沢山いるでしょう。それって、もはやノラ猫の発生源の大きな一つといえるんじゃないでしょうか。だとすれば、「迷子猫のサポートは、猫の殺処分ゼロを目指すための事業とは関係が薄いのではないか・」なんて言っていた自分はなんて浅はかだったんだ・・と頭に衝撃が走りました。



どう迷子猫に対応するか。

いつどこに餌を食べに来るか分かっている TNR の捕獲と違い、迷子猫はどこにいるのか、何時に出てくるのか、そもそもこの地域にまだいるのかさえ分かりません。捕獲の前に【捜索や調査】が必要になってきます。ペット捜索の業者さんの料金プランを見ると、かなり差がありますが、１日５～８時間滞在の捜索で３～６万円の価格だったり、３日間連続の８時間捜索で８～１０万円という形でした。うーん。スタッフを８時間も１つの現場に派遣しようと思うと、予約は１週間は先になってしまいます。それに通常１日２～６現場は捕獲やリターンが入っているので、８時間も１人のスタッフを拘束されてしまうと本来一番力を入れて対応したい TNR が対応しきれなくなってしまいます。実際、これまでも何度も迷子猫対応をしていますが、迷子猫は迷子猫専門の業者さんがいますよ。と伝えても「それでもねこから目線。に対応してほしいです。」と依頼される理由は「評判の良い業者に連絡したら、来れるのは最短で２週間先だと言われた」というケースか、費用的に他の業者さんの価格は出せないというケースでした。

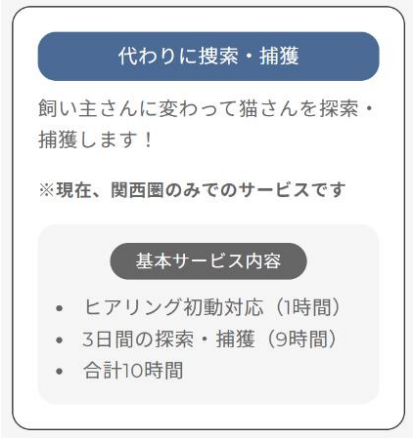
迷子猫の最大課題であり、変えようがない部分は「事前に予約してくれないこと」です。当たり前ですが、迷子は不測の事態による突発的な脱走から起きる事故のようなものなので、「来週の火曜日にうちの飼い猫が迷子になる予定なんですが・・」なんて予約をしてもらうことは不可能です。とはいえ、「今日脱走してしまった」と言っている人に「じゃあ１週間後にお伺いのご予約入れますね」ではあまりにもスピード感が伴いません。なるべく依頼を受けた当日または翌日には現場に行きたいところです。ねこからスタイルの迷子猫サポートプランを考える必要があります。

そこで、これまでに他の業者さんを紹介しても、「できる範囲でいいから対応してほし

い」と言われて、対応してきた迷子猫の事例を遡っていくと、記録がしっかり残っているだけで４９件の成功サポートがありました（消極的な割に以外と件数ありました）。それらの脱走場所や見つかった経緯、捕獲方法、時間の間隔などを検証し、スピード感ある対応ができて、かつ保護までたどり着ける可能性が高いサポートスタイルはどうか・・・・・・・・と考えていきました。

ねこからスタイルの迷子猫サポート

悩みぬいた末に、ねこからスタイルの迷子猫サポートパックが決まりました。関西圏内限定にはなりますが、ヒアリング・初動対応＋飛び３日間の捜索・捕獲で合計１０時間というプランを作りました。これくらいの実働時間になることが分かれば、次は費用設定です。私が一人で感覚で費用を決めると、「赤字ではないけど自転車操業ですね」という所に落とし込んでしまいがちなので、ここでは、新規事業立ち上げのサポートスタッフ浅岡さんとミーティングを繰り返していきます。ノラ猫さんに対するTNR は依頼主さんもボランティアなので、ギリギリの料金設定のまま行きますが、迷子猫は飼い主さんがいて、ちょっと厳しい言い方をすると飼い主さんの不注意によって起きてしまっている事態ですので、収益事業として設定したいと考えました。そして決まった価格は、代わりに捜索・捕獲プラン 50,000 円という、ペット探偵業界では安い～普通くらいの価格ですが、ねこから目線。としてはめちゃくちゃ高額な価格設定となりました。



お手伝い内容・料金

• ヒアリング初動対応（1時間）

• 3日間の探索(計10時間)

（カメラ設置・カメラ確認・現地探索・チラシ作成・捕獲等、必要に応じた対応をいたします）

3日間：¥50,000 +経費（チラシ印刷費、交通費実費）
延長1日あたり：¥10,000

※ 捕獲のみの対応もいたします。ご相談ください。

※ 3日以内に見つかった場合も、3日分の料金をいただきます。

そして、2022 年 1 月から正式に迷子サポートをリリースしました。ここからは事例を紹介しながら解説していきたいと思います。

お出かけ先で迷子になってしまったリコちゃん

【依頼時の状況】

- 相談日から 4 日前に山の中腹にある大きな公園で何かに驚いた拍子にパニックになり、ハーネスを抜けて山の中に逃げてしまった。
- 逃げてしまった日は何度か目撃することができたが、追いかけるとさらに山の奥へ入っていってしまった。
- 翌日以降も探しに行くが姿は一回も見えない。
- 最後に目撃した場所の近くに餌を毎日置いている。それは食べている形跡があるが、山なので色々な動物が居る。
- 餌を置いている所に捕獲器を一晩中設置したが何も捕まらなかった。

■ヒアリング・初動対応（1 時間）＋捜索（1 時間）

ねこから目線。の代わりに捜索・捕獲プランのご依頼をいただき現場にお伺いしました。飼い主さんのご自宅で状況や猫さんについて詳しくお伺いした後に、迷子現場に向かいました。まずは、連日飼い主さんが置いている餌をたべているのが誰なのか確認する為に同じ場所に餌とカメラを設置しました。移動している可能性も含めて、周辺調査をしたうえで移動しそうな場所に更に 2 箇所カメラを設置しました。

【解説】

依頼をもらったその日に 3 時間も現場で捜索をする時間を取ることは難しいですが、1～2 時間だけなら即日に捻出することができると考えました。それでまずは現場にすぐにお伺いして、ヒアリングと簡単な捜索を行い、ネコ観察カメラを設置します。

これが、**ヒアリング・初動対応（1 時間）＋捜索（1 時間）**の部分になります。

■捜索 2 日目（1 時間）

翌朝カメラを確認すると、飼い主さんが毎日餌を置いていた場所にリコちゃんが写っていました！18:30 頃と早朝の 4:30、6:35、と暗い時間帯に何度も来ていることが分かりました。他のカメラにはウサギさんやアライグマさんが写っていました。幸いにもリコちゃんがきている場所にはリコちゃん以外の動物が映らなかった為、夕方から張り込み捕獲を実施す

ることにしました。

リコちゃん

ウサギさん

アライグマさん

■捕獲作戦（7時間半）

薄暗くなる18時頃から捕獲器を設置し、離れたところに車を停めて見張ります。街灯が無いので真っ暗になる現場・・。でもリコちゃんは白が多めの三毛猫さんなので登場すれば目立つはずです。

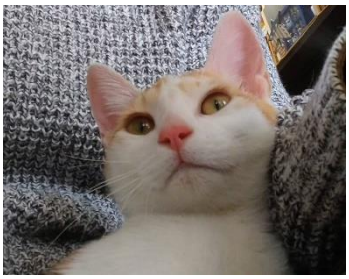
ひたすら待つこと2時間・・。リコちゃんが登場しました！5m 歩いては立ち止まって左右を確認する警戒っぷり・・。それでも捕獲器の近くへ行きました。捕獲器の入口付近のご飯を少し食べてはキョロキョロ。かなり怖がっている様子です。そして1/3ほど食べ進んだ所で何かに驚いて走り去ってしまいました・・。

逃げていった先にはプレハブやコンテナが並んでおり、おそらくその下などに隠れていると思われます。しかし、ここでは見つけることよりも保護することが優先です。隠れているところを暴いてしまうとかえって出て来れなくなってしまったり、さらに遠くへ逃げてしまう可能性があります。コンテナエリアの近くにそっと追加でひとつ捕獲器を設置し、2台体制でリコちゃんが再び出てきてくれるのを待ちます・・。
ひたすら待ちます・・。街頭すらない極寒の山の中で・・。さらに待つこと3時間・・。

リコちゃん保護完了ですー！！！！
出てきてくれてありがとう！！！！

深夜1時。張り込み開始から約7時間半経過したところで無事保護することができました。飼い主さんにすぐ報告のLINEをして、ご家族が待つお家にリコちゃんを連れて行きます。車の中では全く鳴かなかったリコちゃんですが、インター

フォンから飼い主さんの声が聞こえてきた瞬間から「ニャー！ニャー！」と鳴き出しました。怖かったね、帰りたかったね。リコちゃん知らない場所で５日間もよく頑張りました。病院に行くためのキャリーに入れ替えてお手伝い完了です。深夜 1 時半にもかかわらず飼い主さんご家族皆さん起きて待っていてくださいました。



後日、すっかり落ち着いてリラックスしているリコちゃんのお写真が届きました(^^)

ねこから目線。の迷子猫代わりに捜索・捕獲プラン３日間、延長無しで終了でした。

１日目	２日目　朝	２日目　夜	３日目　深夜
依頼	捜索	捕獲	保護完了
ヒアリング・周辺捜索 カメラ設置	カメラ確認・捕獲の 段取り決め	張り込み捕獲	飼い主さん宅にお届け
２時間	１時間	６時間	１時間半

１週間縁の下から出れなかったふうちゃん

換気の為に開けていた玄関から、お外に出てしまい迷子になってしまったふうちゃん。

【状況】

- 脱走翌日の早朝に近くで見つけたが、抱っこに失敗して逃げてしまった。
- それ以降全く姿が見えない。鳴き声もない。
- 去勢済みのオス　11 歳。足が少し悪い。迷子から３日目にねこから目線。に依頼。

■ヒアリング・初動対応（１時間）

ご依頼をいただいた当日の夜に飼い主さん宅にお伺いさせていただき、状況や猫さんの性格のヒアリングを行いました。その場で迷子のチラシを作成と印刷の注文を行いました。この日は遅い時間だった為、飼い主さん宅の玄関先ガレージにカメラを設置して翌日捜索を行うことにしました。

■捜索１日目（２時間）

翌日カメラを確認すると、３匹のノラ猫さんが入れ替わり立ち替わりにパトロールにきていました。かなりノラ猫さんの多い地域のようです。捜索中も沢山のノラ猫さんに遭遇しました。ただ、幸いなことに遭遇する全てのノラ猫さんがさくら耳になっていました。TNR をしてくれているボランティアさんがいらっしゃる地域のようです。

隠れられる隙間がありそうなお家はインターフォンを押して、入らせてもらいます。怪しい箇所が何箇所か絞れたところで、飼い主さんのお話しを思い出しながら、カメラを設置する場所を考えていきます。

飼い主さんのお家から出てしまい、翌日にふうちゃんが目撃されたのは、お家を出て右に数軒行ったお家のガレージだったそうです。そして、そこで保護に失敗し、さらに家沿い右に逃走。一番初めの角を右に曲がった所で見失ったそうです。壁沿いを右に右に動いていく典型的な怖がりさんのパターン・・。だとすると、右に曲がってから道を真っ直ぐ進んでいったというよりも、右に入れる隙間があったら直ぐに入り込んだ可能性が高そうです。となると、一番初めにふうちゃんが見つけるであろう穴は、この家と家の間を塞いでいる錆びたトタンの扉の下・・・。と、よくよく見ると黒く長い毛が一本引っかかっていました。

これは、ふうちゃんの可能性高そうです・・

家主さんの許可をいただき、大きなお屋敷を見させていただくと、お庭の縁側の下ともう１箇所床下に入れる穴がありました。そこでカメラを２台設置させてもらいました。

そして翌日カメラを確認すると・・

■捜索２日目（４時間）

　ふうちゃんがバッチリ写っていました！
お庭の縁側の下のカメラにも、お屋敷の端っこの穴に置いたカメラにも写っていました。
ふうちゃん以外にも５匹ほどのノラ猫さんが写っていました・・

どうやら、入っていない猫さんが出てくる様子も写っているので縁の下は２箇所の穴と繋がっているようです。
潜伏場所が分かれば、あとは捕獲に移ります。
怖がりなふうちゃんは他のノラ猫さんの気配が無い時にそっと出入口付近に顔を出す程度で、１、２日に１回程しかでてきません・・。捕獲器のご飯を新鮮に保ち続けながら、ふうちゃんが勇気を振り絞って、出てきてくれるタイミングを待つしかありません。

■捜索３日目（３時間）

　家主さん、飼い主さんにもご協力いただき、捕獲器を設置して待ち続けること３日目。依頼をいただいてから５日目。ふうちゃんが捕獲器に入ってくれました！！脱走からは７日目でした。お家に戻り、『お水もたくさん飲み、ご飯もたくさん食べ、気絶したように寝ています！』とお写真をいただきました。

　今回のふうちゃん保護のお手伝いも、代わりに捜索・捕獲プラン、延長無しでした。ん？依頼から捕獲までに５日かかっているのに延長無し？と思うかもしれませんが、そこのからくりはこうです。代わりに捜索・捕獲プランは３日間の捜索と記載していますが、これは直近３日間ではなく、ねこから目線。のスタッフの現場対応日が合計３日間という意味です。
ふうちゃんのケースでいうと↓のスケジュールになりました。

１日	２日	３日	４日	５日	６日	７日
脱走		依頼	捜索１日目	捜索２日目		捜索３日目
実施内容		ヒアリング チラシ作成	周辺の捜索 カメラ設置	カメラ確認 捕獲作戦へ移行	捕獲器の観察と餌の入れ替えを飼い主さんで実施	捕獲器増設 捕獲作業 →保護完了
現場滞在時間		１時間 訪問回数１	２時間 訪問回数１	４時間 訪問回数１	捜索日カウント無し 訪問回数０	３時間 訪問回数２

飼い主さんの協力のおかげでスタッフが現場に行って対応したのは３日間で収まったので、

依頼から５日経っていても延長無しというわけです。

脱走からすでに１ヵ月以上経っているケースや、普段から外中自由に行動している飼い猫さんの場合は、周辺の目視で見回っても見つけられる可能性は低いので、注文したチラシが届いてから捜索開始取るため、下記のようなスケジュールになります。

１月前	１日	２日	３日	４日	５日	６日
脱走	**依頼**		**捜索１日目**		**捜索２日目**	**捜索３日目**
実施内容	ヒアリングチラシ作成 注文・カメラ貸し出し	飼い主さんでカメラ確認	チラシ完成 ポスティング・周辺捜索	チラシのリアクション待ち	目撃情報の地点を捜索・カメラ観察	捕獲決行
現場滞在時間	**１時間**	**捜索日カウント無し**	**５時間**	**捜索日カウント無し**	**２時間**	**３時間**

目撃情報が全く寄せられない場合は、チラシ配布の日数を増やしたり、リアクション待ちの日数を増やしたりする場合もあります。捜索のスケジュールに関しては脱走猫さんの性格や周辺環境、脱走からの日数に応じて組んでいくことになります。

まとめ

ねこから目線。の迷子猫サポートがスタートしてはや５ヵ月。迷子サポートを始めました！という広報はしていないものの、ねこから目線。のブログには積極的に載せるようにしたところ、依頼数は右肩上がりになってきました。2022 年の１月～５月半ばの代わりに捜索・捕獲プランの対応件数や成功率を集計してみたところ、対応件数 43 件、捕獲まで至ったケース３６件、成功率 83.72%という結果でした。スタートしたてにしては奮闘していると思いますが、これからも丁寧にケースレポートを積み重ねてもっともっと成功率を高めていきたいと思います！

依頼数	44 件
保護成功件数	36 件
成功率	**83.72%**

2022.1 月～2022 年 5 月末のデータ

おわり

小池英梨子

活動：NPO 法人 FLC 安心とつながりのコミュニティづくりネットワーク

「人もねこも一緒に支援プロジェクト」　プロジェクト代表

仕事：猫専門のお手伝い屋さん「ねこから目線。」として開業。

ご意見・感想・お問い合わせ：e.kosame12@gmail.com